

令和7年度学校運営協議会（第2回）議事録

校長	府立泉北高等支援学校
校長名	阪本 友輝

開催日時	令和7年10月30日（木）13:30~15:00
開催場所	大阪府立泉北高等支援学校 応接室
出席者（委員）	中島 康明（会長） 前田 光一（副会長） 大西 一央（委員） 徳 和則（委員） *魚住 敦子（委員）樋上 一真（委員）は欠席。協議事項については事前に意見集約済み。
出席者（学校）	阪本 友輝（校長）米田 拓朗（教頭）宮園 奈穂美（事務長）前田 映三子（首席）篠原 祐（部主事） 上野 浩嗣（教務主任）木村 晋也（進路指導部副主事） *緒方 美香（研究支援部長・指導教諭）は授業のため欠席
傍聴者	なし
協議資料	委員会名簿 次第 学校運営協議会実施要項 学校教育自己診断票（教職員用） 学校教育自己診断票（保護者用） 学校教育自己診断票（生徒用） 泉北レモンプロジェクトを中心としたこれまでの取組みと今後の展開について（スライド） 令和7年度学校経営計画及び学校評価 令和7年8月28日校内WG研修「性暴力とその影響」チェック項目
備考	意見箱への投書なし

議題等
(1) 諸連絡（配付物の確認、次第の確認、傍聴者の確認、意見箱について）
(2) 校長挨拶
(3) 学校運営協議会副会長挨拶
(4) 泉北レモンプロジェクトを中心としたこれまでの取組みと今後の展開について
(5) 今年度の学校経営計画の進捗について
(6) 今年度の学校教育自己診断について
(7) 質疑応答・意見交換
(8) 会長まとめ
(9) 今後の学校運営協議会予定について
協議内容・承認事項（説明・意見の概要）
(1) 諸連絡

- ・配付物の確認 ※協議資料参考

- ・次第の確認

- ・傍聴者の確認→傍聴者なし

- ・意見箱について→投書なし

(2) 学校長挨拶

(3) 学校運営協議会副会長挨拶

(4) 泉北レモンプロジェクトを中心としたこれまでの取組みと今後の展開について

泉北レモンプロジェクトの取組み、総合における出前授業、人権・道徳教育の取組み、生徒会活動、実習の取組みについてスライドを用いて報告をした。

(5) 今年度の学校経営計画の進捗について

- ・資料「令和7年度学校経営計画及び学校評価」を基に学校長より説明。経営計画の実施・進捗状況について説明。

1. 計画どおりに行っていること、今後行う予定のものを説明。

2. 東京都立臨海近江特別支援学校を視察・研修を行った内容を報告。本校内の研修の実施状況を説明。

3. 防災アドバイザリー事業の活用および実施について、6月24日開催の府支Pの講演会、7月1日教育長の視察があったこと、夏季休業中の公開研修および人権研修の実施内容について報告をした。

4. 働き方改革について教員数減とともに一人当たりの業務量は増えている可能性があるが、全体の業務時間は減少していると報告した。

(6) 今年度の学校教育自己診断について

昨年度の学校教育自己診断(教職員用・生徒用・保護者用)を確認後、今年度も同様の形で行うことの了承を得た。今年度はフォームを使用して実施することを連絡した。

(7) 質疑応答・意見交換

泉北レモンプロジェクトを中心とした本校の取組みについて

- ・外部講師を多く活用しているのが印象的。学校外の方と関わるのは良い取組み。外部人材を活用し、生徒だけでなく、教員の専門性向上にも力を入れていると感じた。

・泉北レモンについて、大学ではマーケティングの学習で南海電鉄と連携をとっているが、泉北レモンはまだ浸透していないようだった。今後レモンの取組みを通してマーケティング、ブランディング、プロモーションを行い、地域に浸透していくように取り組んでいけたらよりよい。

・授業参観等で泉北レモンプロジェクトが進んでいるように見受けられる。子ども向けに外部人材の活用や、教員研修を行っていることに対して良いと思う。

・「いのちの学習」についてどのような内容か中学部でも性に関する課題のある生徒もいる。女子生徒に触ってしまうこともあるので参考にしたい。

→助産師を招いて講義。性器の扱い方、妊娠出産の過程だけでなく、相互の同意が大切であるこ

とを教えていただくことを伝える。

→性教育に関する教材が泉北高等支援学校HPにあがっている。あまりそのような学校はないので、泉北高等支援学校の財産となる取組み。現在の社会、性教育の必要性が高まっている。プレコンセンション（妊娠前～妊娠期）から出産、出産後の父・母が産後うつにならないようにしていくという教育、理解が必要となっている。

- ・アドプロードの活動について、近隣の方から感謝の電話があった。あいさつ運動については活動を知らなかったので、今後行う際は教えていただきたい。

→また連絡する旨をお伝えする。

#### 校務について

- ・子ども会の加入者、PTA役員を引き受けてくれる人が地域の小学校では減少している。本校ではどうか。

→本校でもPTA役員を引き受ける人がいないため、縮小する方向で考えていると伝える。

- ・マチコミメールとはどのようなものか。

→保護者や教職員に連絡物や配付物を一斉配信するツールアプリであることを伝える。

- ・保護者からのクレームや要望はあるか。マチコミメールで保護者から意見はできるか。

→現在クレームのようなものはない。マチコミは基本的に一方通行。保護者の方との対応については17時で電話は留守番電話に切り替わる。現在は保護者の方々にご理解いただいているので特にないと伝える。

- ・「センター的機能」について地域の小中学校に何かしているのか。

→本校からも地域の小学校にリーディングスタッフが支援・助言を行っている。

- ・東京都では、中学部で自力通学の練習を始める。義務教育中に行うことを見重視した考え方。肢体不自由の学校では、教員定数を減らし介護福祉士（医療的ケア可能）を増やすという考え方をしている。

→大阪府も支援教育に関しては先進的な部分もあるが、東京都と比較し予算があまりないのも現状。

#### 防災対策について

- ・堺市南区役所から福祉避難所の開設に関連するので、今後本校で避難訓練等するときは堺市南区にも連絡を入れてほしいと自治会にあった。

→これまで堺市と連携をとり防災訓練に参加していただいていたが、今後は南区も抱き込んで行うよう取り組む。

- ・図上訓練はしているのか。実践的な避難訓練は？

→9月に実践的な避難訓練を行った。福祉避難所開設については、すぐには受け入れできないので、校内に立ち入り禁止などの看板を出すなどの実践訓練も行った。

- ・防災訓練への地域の参加を今後も行いたい。地域の防災訓練や美化活動にもよければ参加してほしい。

→また案内をいただいたら、教職員、保護者に周知する。

(8) 会長まとめ

知的障がいの方が支援学校に行きたいというニーズが高まっている。そのニーズを受けて、学校経営計画に反映して運営できるように願っている。

(9) 今後の学校運営協議会予定について

第3回令和8年1月29日（木）13：30～15:00